

えつ！結核！？

～あわてないために～

「感染症」「結核」「院内感染対策」…マニュアルって色々書いてあるけど、本当に患者さんが出たらそれどころじゃない！マニュアルは見たことあるけど覚えられない！わかりますその気持ち。でも、結核は今もそこにはあります。

「結核は昔の病気」？？

いえいえ 結核は現代の病気で、届出が必要な重大な感染症です！！

結核は、いまだに毎年約22,000人が発症し、約2,000人が死亡しています。佐賀県内でも毎年170人前後が発症し、20人程度が死亡しています。また、全国では、学校・医療機関・施設を中心として、毎年40件程度の「集団感染」が報告されており、児童生徒や医療従事者、介護職員が感染を受けています。

結核患者の多くは呼吸器症状で、まずかかりつけ医を受診した後、専門医療機関に紹介されます。特に高齢者の結核は典型的な症状が無いため、発見が遅れがちです。

あなたの病院を受診している患者さんも、もしかしたら「結核」かもしれません。



看護師さんってこんなに感染や発症の危険性が高いのです！！

いつも患者の身近でケアをしている医療スタッフの結核罹患率は他職種に比べ高く、特に看護師は一般集団の約4倍の発症リスクがあるとの報告があります。

また、県内の医療機関のデータによると、医療スタッフの7～8%が知らないうちに結核に感染しています。

年次別・職種別

新登録潜在性結核感染症(LTBI)治療対象者数

平成23年

	人数	構成比
総数	10,046	
看護師・保健師	2,345	23.3
医師	425	4.2
その他医療職	910	9.1
接客業	306	3.0
教員・保育士	102	1.0
上記以外の常勤労働者	2,322	23.1
上記以外の臨時雇・日雇	345	3.4
上記以外の自営業・自由業	230	2.3
家事従事者	261	2.6
無職・その他	1,206	12.0
乳幼児	570	5.7
小中学生等学童	414	4.1
高校生以上の生徒	464	4.6
不明	146	1.5

【A病院】

患者対応する職員のベースライン(QFT® 検査)

全体	検査実施者①	陽性者②	陽性率②/①
	832	58	7%

【B病院】

喀痰塗抹陽性患者発生時接触者健診

ベースライン(QFT® 検査)

全体	検査実施者①	陽性者②	陽性率②/①
	198	15	8%

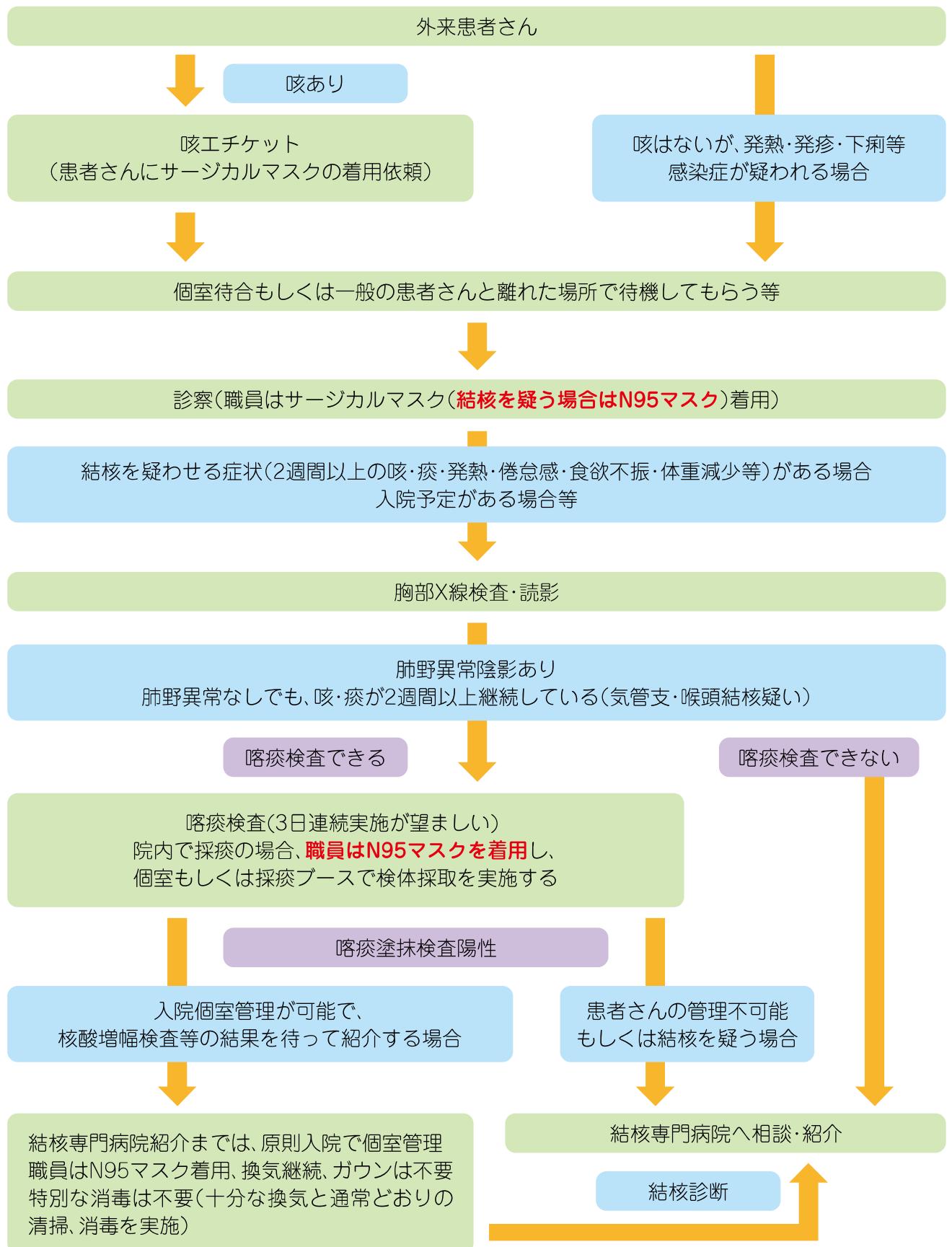
結核に感染しないために

まずは、結核患者さんを早期発見すること。そして、もし結核患者さんと接触しても感染しないために、日頃から感染防止対策をとっておくことが重要です。

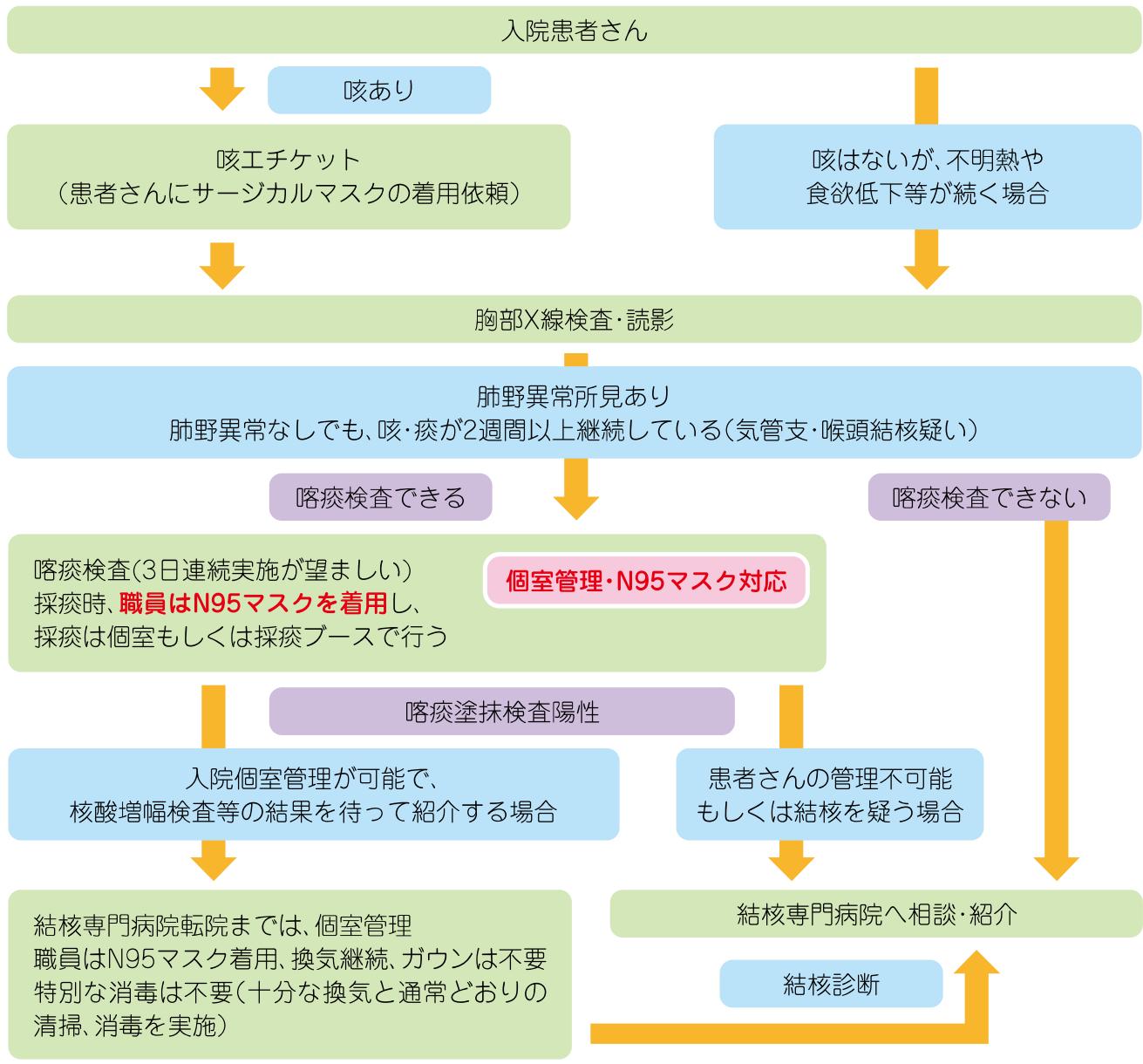
平成23年結核登録者情報調査年報

感染拡大防止のために

外来患者さんの対応



入院患者さんの対応



結核疑いで紹介をする場合は、**患者さんにサージカルマスクを着用してもらう。**
また、結核疑いの患者さんが紹介受診された場合は、来院時から**職員はN95マスクを着用する。**

☆ポイント☆

採痰時から検査の結果が出るまで個室管理、N95マスク対応、換気も十分に。
痰吸引、吸入、採痰介助、気管支内視鏡検査、気管内挿管時(介助含む)、職員は必ずN95マスク着用。
(これらは感染リスクの高い処置です)

*早く結核患者さんを発見すること、結核診断前に感染予防対策を実施することが感染拡大防止の鍵です。
(後から結核とわかってからでは遅い!!患者さん・職員の健診にかかる時間・お金は膨大です)

患者さん(ご家族等)へご指導ください

『結核専門病院に入院(転院)する時には』 *救急車を使用しない場合

- ◎患者さんはサージカルマスク、同乗者(ご家族等)はN95マスク
- ◎車の窓は全開で
- ◎公共交通機関は使用しない

『もしかして(院内)感染したかもと不安になったら…』

- *あわてない！今、接触したあなたから感染を広げることはあります！
ただし、咳・痰などの症状があれば早期受診を。
- *発症は感染してから早くても数ヵ月後。
発症していないければ、通常どおりの生活で構いません。
必要な方には、後日、医療機関や保健福祉事務所から健診の案内があります。
- *咳が出る時は、咳エチケットと早期受診が大切です。
(無理して出勤すると感染拡大の可能性があります。)



『結核に関する相談は保健福祉事務所へ』

結核対策は、保健福祉事務所(保健所)が担当しています。

- ◎結核と診断したら、直ちに結核発生届の提出をお願いします。
- ◎結核治療中の患者が入院・退院したら、入退院届を7日以内にお願いします。
(結核治療目的でなくても必要です)
- ◎医療機関は、保健福祉事務所(保健所)と患者発生後の対応について、緊密に連携を取る責任があります。保健福祉事務所からの問い合わせや積極的な情報提供にご協力ください。

結核に関する問い合わせ先

名 称	管轄地区	電話番号	FAX番号
佐賀中部保健福祉事務所	佐賀市・多久市・小城市 神埼市・吉野ヶ里町	0952-30-3622	0952-30-3464
鳥栖保健福祉事務所	鳥栖市・基山町・上峰町・みやき町	0942-83-3579	0942-84-1849
唐津保健福祉事務所	唐津市・玄海町	0955-73-4186	0955-75-0438
伊万里保健福祉事務所	伊万里市・有田町	0955-23-2101	0955-22-3829
杵藤保健福祉事務所	武雄市・鹿島市・嬉野市・大町町 江北町・白石町・太良町	0954-22-2104	0954-22-4573
佐賀県健康増進課		0952-25-7075	0952-25-7268

あわてないために!!これはあなたを守るための対策です。

☆N95マスクのつけ方☆



①マスクの鼻あてを指のほうにして、ゴムバンドが下に垂れるように持つ。



②鼻あてを上にしてマスクで顎を包むようにかぶせる。



③上側のゴムバンドを頭頂部の近くにかける。



④下側のゴムバンドを首の後ろ側にかける。



⑤両手で鼻あてを押さえながら、指先で鼻あてが鼻に密着するようにあわせる。



⑥両手でマスク全体を覆い、息をはいて空気が漏れていないかチェックする。

☆検査に適した痰の例☆ P2、P3が「良い痰」

- ①起床時に採取する。
- ②うがいをする。
- ③深く息を吸い、強い咳とともに痰を出す。
- ④自発痰が採りにくいときは高張食塩水(3~5%)のネブライザー吸入を行う。
- ⑤容器にできるだけ多くとる。(5ml以上が望ましい)
- ⑥膿性部分のある「良い痰」かどうか確認する。

※すぐに提出できないときは冷蔵庫に保存し、雑菌が繁殖しないようにする。



M1
唾液・完全な粘性痰



M2
粘性痰の中に膿性痰が少量含まれる



P1
膿性部分が1/3以下の痰



P2
膿性部分が1/3~2/3の痰



P3
膿性部分が2/3以上の痰



P3血痰

あなたはAさんになりますか？Bさんになりますか？



「入院患者さんに結核の診断がついて…」

- A ナースステーションで聞いたんだけど、肺炎で入院してたCさんが実は結核だったんだって。
- B え～！私、受け持ちだったのに。感染してたらどうしよう…早く健診受けないと！あっ！私の家族は大丈夫かな？子どもがまだ小さいし、子どもにうつってたらどうしたらいいの？
- A 落ち着いて、そんなにあわてないで。結核は感染しても早く数ヵ月経たないと発症することがないんだって。今、健診を受けても何もわからないよ。それに、あなたが発症してなければ子どもにうつすなんてことはないよ。
それにしても、あの患者さん咳をしてたのに、痰検査で吸引する時もN95マスクは使わなかったの？
- B Cさん、咳をしてたけど、痰検査で結核ってわかるまでは肺炎だと思ってたし…
- A 結核はN95マスクを使わないと感染予防にならないよ。それに、痰の検査結果を待ってたらその間に感染が広がることもあるらしいよ。
- B え～っ！ そうなの！？手洗いはきちんとしてたけど…あっ！Cさんがいた部屋の消毒をしなくちゃ！
- A 結核は空気感染だから手洗いをしても感染予防にならないんだよ。特別な消毒は必要ないし、それよりも窓を開けて換気する方が効果的だよ。
- B そうなんだ…Cさんの家族も不安そうだったよ。小さいお孫さんもよく面会に来てたしね。
- A 大丈夫。医師は結核の診断をしたらすぐに保健所に結核発生届を出すように法律で決まっているの。患者さんや家族には発生届を受理した保健所から必ず連絡があるから、家族の健診や不安について相談にのってくれるよ。
- B 結核は昔の病気だと思ってたよ。これからは自分を守るためにも感染予防に注意しないとね。

結核豆知識①～発症しやすい人ってどんな人？～

高齢者、糖尿病・人工透析・ステロイド内服中の患者さん、生物学的製剤や抗がん剤使用中の患者さん、胃切除後患者さんなど、免疫力の低下しやすい方は、結核に感染した場合、発症しやすいと言われています。

感染したら必ず発症するということはありませんが、症状がある場合には結核を疑うことも大切です。



結核豆知識②～健診～

現在、成人の結核感染の有無を検査するためには、IGRA(QFT®検査、T-SPOT® TB)が主流となっています。ただし、既感染か最近の感染であるかは判別できません。可能であれば、雇用時健診の結果(初回検査結果)を確認・記録しておくことをおすすめします。

接触者健診は適切な時期に検査する必要があります。

* ツベルクリン反応検査はBCGの影響を受けるため、感染の有無を調べる検査としてはおすすめしません。

本リーフレットの詳しい内容については、結核院内感染対策の手引きに記載しています。

平成25年3月 佐賀県結核院内感染対策の手引き検討委員会